

【年間テーマ センサーマット使用者の現状把握とその対応】

令和 1年 8月23日提出

日付	令和 1年 8月10日(土)			
場所	博多駅筑紫ロビジネスセンター		記録者名：西村穂子	
出席者 (敬称略)	原土井病院 杉原亜希	香椎原病院 大坪史弥	有吉病院 西村穂子	広橋病院 高屋ひかる
	新小倉病院 橋本裕子	東福岡病院 吉武美加	北九州古賀病院 大石亜希子	大牟田共立病院 米村裕志
テーマ				
結論	テーマ→センサーマット使用者の現状把握とその対応とする。 ・行動制限・・・稼動しているセンサーの数が多い。 ・夜だけ設置や、日中リハビリの参加等にて離床時間を長く使用時間短縮を工夫。 ・緊急性の高い方・・・設置の長い方で外せそうな方から回している。 ・センサーの種類がどの位ありどのように設置されているか知りたい。			
決定事項	・次回までに自分の部署で使用中の入居者を把握し、現状の良かった事をスタッフより聞き取る。 ・各施設にて使用中のセンサーマットの写真を撮り持ち寄る。			
備考	Q&A A病院からのQ ①改善が見えた時、やめるタイミング。 抑制カンファを行い外すタイミングを話し合う。(看護の声、介護の声) ②情報や優先順位を考える。切迫性がある人が優先。			
次回討論項目	各施設で持ち寄った物を集計			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)